

伴学区社協だより

発行 伴学区社会福祉協議会
電話 082-848-3277



出席者に助言する藤本准教授(沼田老人いこいの家)

「みんなが、安心して、穏やかに過ごせる、福祉の伴づくり」。事業・組織・財務全般を見直す伴社協は三月九日、広島国際学院大の藤本風明准教授を講師者に招き、住民主体の取り組みを考えるワークショップをしました。

藤本准教授は「被災地を見ると平時の生活がちんとできていないと非常時の対応が難しい。地域の生活を組み立て直す作業の中にヒントがないか」と助言。計画、実行、検証を通して

福祉の伴づくり元年へ 住民主体の具体案

きる居場所づくり」などの企画案を発表しました。

て、組織の力量を確かめる必要も指摘しました。

伴社協は、各部事業予算や各種団体助成金の二〇％減などを検討し四つの骨子案の事業改革計画もまとめました。伴晴英会長は「地域のみなさんが幸せになる共生社会の実現に財政基盤の強化は欠かせない」と協力を求めました。

- 四つの骨子
 - 一、財政基盤の強化
 - 二、事業の全面見直し
 - 三、組織の再構築
 - 四、善意銀行の改革
- (四は地域参加の意識を高める改革を含む)



「すすつとね 助け舟出るサロンの仲間」にっこりとほほえみ返しあなたと私。広陵地区と四団地の人が下伴集会所に集う「さわやかサロン」は「みんな主役」笑顔が主人公」が合言



みんなが笑顔になれる

「あびす顔きつと誰もが好きだよ」苦しい時は助けられたり助けたり「沼田の地ふるさとの香りしみとおる」十三年間続くサロンの魅力が伝わる贈り物に、笑顔の輪が広がっています。

第一水曜日午前九時半。

3年ぶり復活 防災町民運動会
4月21日午前9時 伴小で開催

あんぜん・あんしん

ハナサクモリの芸術家 地域とアート交流

創立五十周年を迎えた知的障がい者の支援施設「太田川学園」の利用者の作品展「ハナサクモリの芸術家たち」が沼田合同庁舎であり、地域の人と交流を広げています。

「桜咲いた、花きれい、鳥も、ちようちよもいるよ、虹うれしい」。大きな身振りの発表に笑みが絶えない。描く喜びが伝わる作品は、まっすぐな制作姿勢も魅力です。

アートな伴クラブは、伴のま

「アートな伴クラブ」(秋野征治会長)が主催。新庁舎の完成記念として一階交流スペースを活用し、五人の十点を二月、展示しました。

色彩や造形など個性的な表現が躍動する作品群。昨年四―六月、泉美術館の展示でも大きな反響を呼びました。交流スペースでは、広島市立大の伊東敏光教授、太田川学園アートディレクターの羽鳥智裕さんらの座談会も企画され、大作の絵画「ハッピーエンド」を出品した水ノ上茉優さんも登壇しました。



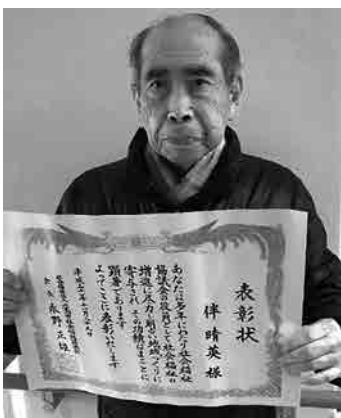
発表する水ノ上さんに拍手する出席者(2月16日)

ちづくりを深めるワークショップを受け、NPO法人沼田まちづくり協議会の研修から平成二十九年夏に発足。「地域の宝」と喫茶店などに未公開の作品の展示を呼びかけ、共感の輪を広げています。

太田川学園の内田健二理事長は「施設の内に閉じこもりがちな私たちにもありがたい。地域に開かれ、発信・交流が広がることで施設や障がい者への理解が深まる」と歓迎しています。

おめでとうございます

伴晴英会長が、広島市社会福祉協議会会長から表彰されました。平成十七年度から評議員、理事を経て二十二年度会長(現在五期目)に就任。長年の活動が評価されました。



- 1 JA伴支店か沼田老人いこいの家に出向き
 - 2 窓口で伴学区社会福祉協議会に寄付したい旨をお話しください
- あなたのご芳志で伴学区社会福祉協議会の活動は支えられています

善意銀行への御寄付
ありがとうございます

(敬称略)

▼香典返しにかえて

(平成三十年一月〜三十一年二月)

町内会 寄付者御芳名 死没者名

奥畑 大迫 聡 正枝

広陵 谷口 政子 ミヨコ

横更 昭夫 美智恵

若葉台 手嶋 展子 剛

▼一般寄付者

広陵 伴 晴英

善意銀行とは

お返しのお持ちはお礼状のみにとどめ、金品は伴学区善意銀行に寄付していただき、地域の福祉向上に役立ててもらいましょう。

お気持ちを社会福祉協議会にご寄付していただくとき

1 JA伴支店か沼田老人いこいの家に出向き

2 窓口で伴学区社会福祉協議会に寄付したい旨をお話しくだ

